

科目名 (科目番号)		臨床医学総論 (腎・泌尿学学) (時間割参照)	教員名 佐藤 宜伯	学科等	医療技術	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	講義	オフィスアワー		
授業概要		種々の腎疾患と血液浄化法の基礎について学ぶ。講義ではまずネフロンの構成や糸球体濾過と尿細管再吸収や腎の内分泌機能など基本的な腎の生理機能について学び、次に糖尿病性腎症、慢性糸球体腎炎、腎硬化症、多発性嚢胞腎および泌尿器疾患など主要な病態、また診断と治療について学ぶ。急性腎不全、慢性腎不全または維持透析患者で見られる症候と検査値異常との関係について学ぶ。						
目的・目標		目的:血液透析療法の対象となる腎疾患の病態と治療法について理解する。 目標:①腎臓の解剖と生理機能について学習する、②腎機能障害を起こす腎疾患を学習する、③腎不全の病態と治療法を学習する、④透析患者の病態、合併症とその治療法を学習する。						
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	腎臓の解剖と生理機能①	到達目標:腎臓・泌尿器の構造と機能について理解する。 学習内容:腎臓・泌尿器の構造と機能					
	2	腎臓の解剖と生理機能②、腎疾患・泌尿器科疾患の症候・病態生理	到達目標:クリアランス、体液と電解質バランス、腎疾患・泌尿器科疾患の症候・病態生理について理解する 学習内容:クリアランス、体液と電解質バランス、腎疾患・泌尿器科疾患の症候・病態生理					
	3	酸塩基平衡	到達目標:酸塩基平衡を理解する。 学習内容:酸塩基平衡					
	4	内科的疾患①	到達目標:原発性糸球体腎炎(急性および慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群など)、続発性糸球体腎炎(糖尿病性腎症、アミロイド腎など)の徴候と経過、治療について理解する。 学習内容:原発性糸球体腎炎(急性および慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群など)、続発性糸球体腎炎(糖尿病性腎症、アミロイド腎など)の徴候と経過、治療					
	5	内科的疾患②	到達目標:尿細管・間質性疾患(急性尿細管・間質性腎炎、尿細管アシドーシスなど)の徴候と経過、治療、アニオンギャップについて理解する。 学習内容:尿細管・間質性疾患(急性尿細管・間質性腎炎、尿細管アシドーシスなど)の徴候と経過、治療、アニオンギャップ					
	6	内科的疾患③、泌尿科的疾患①	到達目標:腎血管性疾患、先天性腎尿路異常、尿路感染症、腎盂腎炎、尿路結石などの徴候と経過、治療について概略を理解する。 学習内容:腎血管性疾患、先天性腎尿路異常、尿路感染症、腎盂腎炎、尿路結石などの徴候と経過、治療					
	7	泌尿科的疾患②	到達目標:腎・泌尿器・生殖器腫瘍、男性泌尿器の疾患について理解する 学習内容:腎・泌尿器・生殖器腫瘍、男性泌尿器の疾患					
	8	女性生殖器の疾患	到達目標:女性泌尿器の疾患について理解する 学習内容:女性泌尿器の疾患					
	9	急性腎不全(ARF)と急性腎障害(AKI)	到達目標:急性腎不全の分類およびその病態と治療を理解する。 学習内容:急性腎不全の分類およびその病態と治療					
	10	慢性腎臓病	到達目標:慢性腎不全および慢性腎臓病の病態と治療についてを理解する。 学習内容:慢性腎不全および慢性腎臓病の病態と治療					
	11	腎代替療法、透析患者にみられる合併症	到達目標:慢性腎不全患者の多くは人工透析療法を受けているが、その導入基準などのについて理解する。維持透析患者に生じる合併症とその検査値異常、予防法、治療法を理解する。 学習内容:人工透析療法の導入基準、維持透析患者に生じる合併症とその検査値異常、予防法、治療法					
	12	腎移植	到達目標:移植、とくに腎移植について理解する 学習内容:移植、とくに腎移植					
	13	電解質異常	到達目標:電解質異常について理解する。 学習内容:電解質異常					
	14	まとめ①	到達目標:腎臓・泌尿器の構造と機能についてまとめる。 学習内容:腎臓・泌尿器の構造と機能					
15	まとめ②	到達目標:腎・泌尿器疾患と病態および腎透析療法についてまとめる。 学習内容:腎・泌尿器疾患と病態および腎透析療法						
成績評価の方法・基準		対面・オンライン共通：期末試験(100%)						
教科書		臨床工学講座 臨床医学総論(第2版)			篠原一彦		医歯薬出版	
参考図書		臨床工学技士標準テキスト(第4版)			小野哲章		金原出版	
教員からのメッセージ		配布資料とスライドとで補足をしながら講義を行います。(教科書の該当する箇所ですべて予習をしてください) 病院で勤務した臨床工学技士がこの授業を担当します。オンライン授業で変更がある場合は、変更のシラバスを周知します。						